

2003.5

NO.7

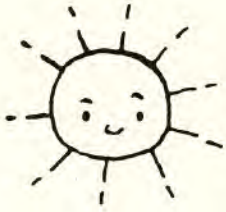
LETTER

目次

- 「京都ライオンズクラブによる助成事業」が始まります
(龍池 妃都美) 2
- 清仁、清心保育園におひさま発電所ができました (大西 啓子)
..... 3
- あげぼの保育園「おひさま発電所」設置後の取り組み
(矢島 里美) 4
- 「理事からのひとこと」(豊田 陽介)
- おひさま発電所・発電データ 5
- 誰にでもわかる太陽光発電 (林 敏秋) 6
- 「春の省エネ ここがポイント」(木原 浩貴) 7



特定非営利活動法人
きょうとグリーンファンド



「京都ライオンズクラブによる助成事業」が始まります!



龍池 妃都美

昨秋、京都ライオンズクラブより助成金交付のお話をいただき、9月の理事会にてお受けすることに決定しました。2004年1月創設50周年を迎える京都ライオンズクラブが記念事業の一環として、「環境都市京都のために」ということで、地道に活動しているところをバックアップしたいと、きょうとグリーンファンドの活動に賛同し、協力を申し出てくださいました次第です。公益信託「京都ライオンズクラブ地域社会奉仕活動助成基金」より2003年と2004年の2カ年にわたり、計4機の市民共同おひさま発電所設置事業に、約1000万円の助成を受けることになりました。

去年末から今年にかけて、京都の教育や福祉に関する準公共施設（幼稚園、保育園）を対象に実施した設

置場所募集に、複数の問い合わせ、応募がありました。現地調査、ヒアリング実施後、ライオンズクラブとの合同審査の結果、今年度は山科区の清水台幼稚園と右京区の夢窓幼稚園に決定しました。両園ともに環境に対する関心が高く、取り組みにも積極的で、きょうとグリーンファンドの活動にもご理解いただいています。

今後はNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「新エネルギー草の根支援事業」の補助金申請（設置総額の2分の1補助）を皮切りに、両者間協議や説明会、寄付キャンペーンなど、来年春の設置・点灯に向けてこのプロジェクトを進めていくこととなります。今後とも皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い致します。

◆◆◆講演会のお知らせ◆◆◆

☆きょうとグリーンファンドでは、昨年度、京のアジェンダ 21 フォーラム・自然エネルギーワーキンググループに参加し、京都でのグリーン電力制度の可能性を検討してきました。この度、その成果報告会を開催することになりました。みなさま総会と合わせてご参加下さい。

☆報告会は14時からです。くわしくは、同封のちらしをご覧ください。

////////////////////////////////////
京エコロジーセンター2002年度調査研究事業・成果報告会

長谷川公一氏：記念講演

『日本におけるグリーン電力の可能性について』

////////////////////////////////////

日時：2003年5月24日（土）15時～17時

場所：京エコロジーセンター・1階シアター

参加費：無料

主催：京エコロジーセンター、
京のアジェンダ 21・自然エネルギーワーキンググループ

共催：きょうとグリーンファンド

気候ネットワーク

■講師 Profile

長谷川公一（東北大学教授）

環境・エネルギー問題に詳しく、その著書「脱原子力社会の選択」では、サクラメントの事例をもとに、原発閉鎖から自然エネルギーへと移り変わる社会を鮮やかに描き出した。また、北海道生活クラブ生協に、現在のグリーンファンド運動のきっかけとなる提案を行なったことでもよく知られている。

1954年生まれ。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学

現在 東北大学文学部教授

主著 『脱原子力社会の選択—新エネルギー革命の時代』新曜社、1996年

『巨大地域開発の構想と帰結—むつ小川原開発と核燃料サイクル施設』

（共編著）東京大学出版会、1998年。



清仁保育園、清心保育園におひさま発電所ができました。

大西 啓子

2月1日と8日、城陽市にある清仁福祉会の2つの保育園におひさま発電所2機が設置されました。太陽熱温水器3台も設置され、太陽の「光」と「熱」を十分に活用する装置が完成したわけです。

今回の取り組みは、同じNPO法人として日頃から協力関係にある気候ネットワークからのご紹介で、始まりました。普及啓発に関しては気候ネットワークのスタッフが担当し、きょうとグリーンファンドは進行役とみなさまからの寄付に関する取り組みを担当しました。NPO同士の協力・連携がうまくいき、さまざまな点でより行き届いた取り組みとなった点で、市民共同発電所作りの新たな展開となったのではないのでしょうか。

補助金申請に関しては、清仁福祉会が申請していたく形をとりましたので、申請業務や設置後の実績報

告書作成にかかわることはなく、つねに「人不足」のきょうとグリーンファンドにとってはありがたい方法だったと言えます。毎年少しずつ「おひさま発電所」の進め方も進化しているような気がします。

2003年、城陽市に新たな「発信基地」が誕生し、おひさま発電所設置をきっかけに、これからどのような発信がされるのか、大変楽しみにしています。昨年設置されたあけぼの保育園では、エネルギーだけではなく環境問題全般にわたって日常的な取り組みが始まったこと、そしてそれがどんどん進み、深まっていっているというお話をお聞きしました。保育園みずから気づいて変わっていく、そしてさまざまな形で地域に発信していただける、私たちにとってこれ以上うれしいことはありません。1年後の清仁・清心2つの保育園に期待したいと思います。



☆ 清仁・清心ソーラープロジェクトご報告

(単位 万円)

【収入】	寄付金 (398 件の個人・団体から)	218.9
	きょうとグリーンファンド「おひさま基金」より	20
	NEDO からの補助金	795
	清仁福祉会から	641.1
	計	1675
【支出】	設備 太陽電池 (5 kW規模2機)	1261
	太陽熱温水器 (3台)	303
	普及啓発のために	78
	皆さまへの呼びかけに	33
	計	1675





あけぼの保育園「おひさま発電所」設置後の取り組み



あけぼの保育園園長 矢島 里美

5・4・3・2・1・0のカウントダウンではじまったあけぼの保育園「おひさま発電所」点灯式。2002年2月10日。感動、感激、記念すべき日となりました。

このおひさま発電所の設置を契機に、次代を担う子ども達自らが地球環境、自然環境に関心を持ち、その大切さを考える人に育ってほしいとの願いを、保育現場から発信していくことも保育者としての大きな役割であるという思いを強く抱くようになりました。

そこで、曙福祉会の法人全スタッフを対象に、きょうとグリーンファンド・京のアジェンダ21フォーラムなどのご指導、ご協力を得て、3回シリーズで環境学習会を開催いたしました。その結果、みんなの地球を守っていくために、今日からでも出来ることがたくさんあることを確認しあい、保育園で、またそれぞれの家庭で、下記のようなことを実行に移しつつあります。

① エコ夏祭り開催

当園恒例の「夏まつり」を「エコ夏まつり」として実施。模擬店で使用する食べ物容器を従来の発泡スチロールからエコ商品に。間伐材の割りばしを使用し、使用后洗浄、乾燥。ペットボトルは使用せず、空き缶は参加者全員に洗浄してもらい分別回収。ゴミの量を従来の約1/3に減らすことが出来

ました。

② 節電

保育室などの電気を南・中・北側と日照に応じて、こまめに点灯を調節。さらにエコタップの使用や、使用しないコンセントは抜いて一日の保育を終了する。保育後の作業は出来るだけ一部屋に集まって行うことにより、節電だけでなく職員間のコミュニケーションも自然と深まったように思います。

③ 通勤・移動

何人かの職員が車通勤をやめ、自転車に切り替えたり、公共交通機関を利用する姿も見られるようになりました。

④ 物品購入

お茶・コーヒー・紅茶等は缶・ペットボトルの購入は控え、出来るだけ職員同士で入れることにより、お互いの会話も弾むように思えます。生活用品・事務用品の購入に際しても、品質表示を確認し、エコ商品を選ぶようお互いに啓蒙しようとなりました。

まだまだ行動を開始したばかりの「あけぼの」ではありますが、私達の行動や思いが園児たちや保護者の方々に伝わり、さらには地域にも波及していくことを願い、「情報発信源」としての役割を担っていけるよう、これからは職員一丸となって学習し、行動を継続していきたいと思っています。

写真：あけぼの保育園で開催された「エコ夏祭り」 2002.7.13

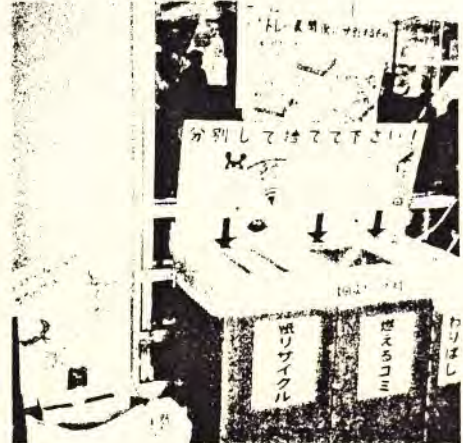
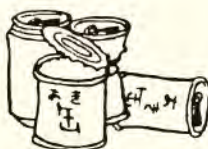


矢島園長先生

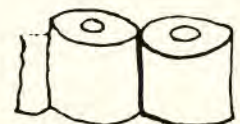
地球にやさしい
保育園になりま
しょう！



□空き缶はたらいの水で洗って回収します。



□ごみは分別します。
わりばし、トレーは、紙にリサイクルされます。





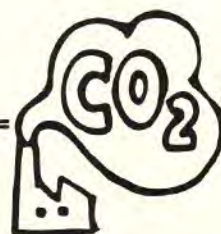
理事からのひとこと

豊田 陽介

昨年より理事を務めさせていただいている豊田と申します。

4年ほど前から気候ネットワークの自然エネルギー普及研究会で活動を始め、その中できょうとグリーンファンドの取組みに出会い、深く関わりをもつようになりました。きょうとグリーンファンドの活動は、太陽光発電をはじめとする自然エネルギーの普及を促進するだけでなく、自然エネルギーを通じた地域コミュニティの活性化につながる取組みであると考えています。地域の人々が協働して、コミュニティに関係の深い施設等に自然エネルギーの設置を行なうことで、地域に自然エネルギーを通じた交流が生まれ、コミュニティ全体の環境意識の向上につながるからです。

現在、私個人は京エコロジーセンターの職員として勤めており、センターは京都の環境活動を支援していくことを役割としています。そういったことから、今後もきょうとグリーンファンドの活動とうまく連携し、サポートしていければと考えています。

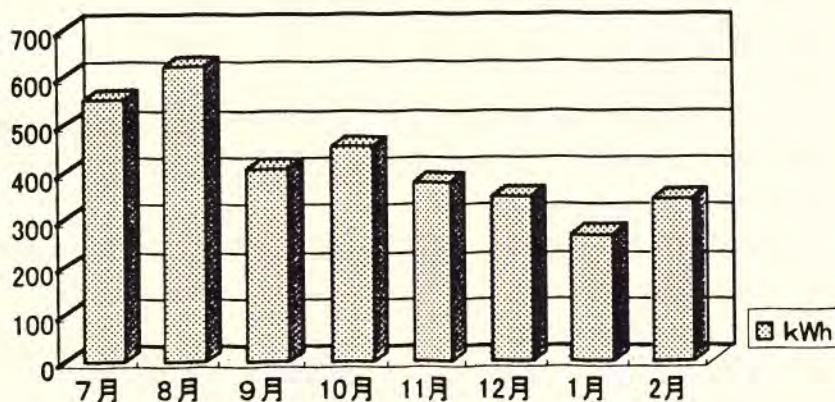


おひさま発電所・発電データ

(2002年7月～2003年2月)



あけぼの保育園
「おひさま発電所2号」5kW規模



☆夏から秋、そして冬になっても、がんばって発電しています。



誰にでもわかる太陽光発電

「太陽電池の生産量は日本が世界一」

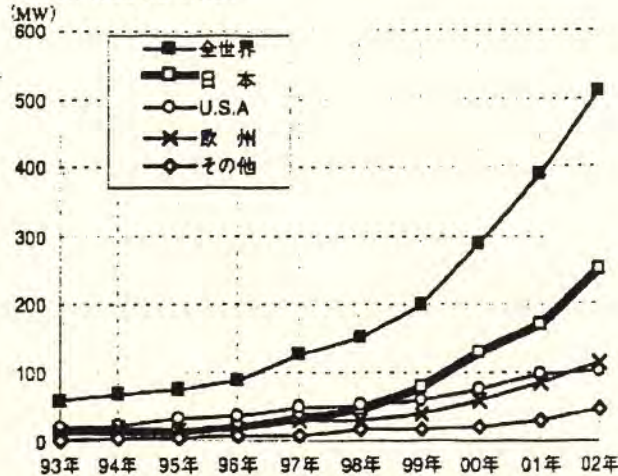
林 敏秋 (ワーカーズコープ エコテック)

太陽電池が開発されてから約50年たちます。最初は電力会社の電源がこない無線中継基地などが主な利用用途でした。いわゆる初期の頃はアメリカが世界のトップを走っていました。日本がアメリカを完全に抜くのは1999年です。それ以降は日本が世界のトップを走り続けています。2002年度、世界の太陽電池出荷量は520MWです。そのうち日本は世界の約半分、49%のシェアを持っています。520MWとはどれくらいかというとな52万KW。原発一基分が約100万KWといわれますから、単純には比較できませんがその約半分ぐらいの規模だといえます。

日本が世界のトップに躍り出たのは言うまでもなく、住宅用の太陽光発電の普及などが原因と考えられます。国が助成金をだして太陽電池を生産しているメーカーも大量生産に本腰を入れはじめました。今後日本のメーカーはさらに増産していく方向です。

日本がトップであることは誇るべきことかもしれませんが、注意すべきはその日本で設置されている太陽光発電のうちほとんどが個人住宅であるという点です。環境のために採算を度外視して高額な設備を付けた市民(パイオニア)の存在を抜きにしては語れないのです。

図 世界の太陽電池出荷推移



「5月18日 第三回太陽光発電世界会議 in 大阪、日本市民の取り組み」

□5月10日～20日にかけて大阪国際会議場(グランキューブ大阪)を舞台に「ワールドPV(太陽光発電)エポック・イン・大阪」が開かれます。このイベントは、PVの技術をめぐる討論会・第三回太陽光発電世界会議(WCPEC-3)、日米欧のPVメーカーの展示会など、世界の産官学の太陽光発電関係者が一堂に会する予定です。今回は世界のトップを走る日本が、ホスト国となってアジアで初めて開かれる会議です。

□この会議で市民・環境NGOサイドの取り組みとして「太陽光発電普及における日本市民の取り組み国際会議 in 大阪」を開催することになりました。きょうとグリーンファンドも事例報告をし、パネラーとして参加します。

□世界の人々に日本の市民の自然エネルギーへの先駆的な取り組みを発信し、交流・討論を行いたいと思います。是非ご参加ください。

・時 5月18日(日) 13:00～17:00

・場所 大阪国際会議場 TEL06-4803-5555 (JR大阪環状線「福島駅」から徒歩10分)

・内容 報告:日本市民の立場から、海外の市民の取り組みから

パネルディスカッション:環境NGO、市民共同発電所、研究者、電力会社など

・主催 第三回太陽光発電世界会議「日本の市民の取り組み」実行委員会

(きょうとグリーンファンドも実行委員会に参加しています。)

「春の省エネ ここがポイント」

♪♪もうすぐ春ですねえ～ 彼をさそってみませんかあ～♪♪



木原 浩貴 (気候ネットワーク スタッフ)

財団法人 省エネルギーセンター 省エネルギー普及指導員

家庭で最もエネルギーを使う季節である冬が終わりました。これからは電気代もガス代もあまりかからなくなる季節なのでつつい気を抜いてしまいがちです。しかしそんなときこそ、冷暖房以外の省エネについても気を配ってみましょう。

例えば自家用車の利用。家庭の用途別の CO2 排出量を見ると、年間平均値でも 2 割以上を自家用車の利用が占めています。冷暖房を使わない春や秋には、この割合ははるかに高くなるわけです。可能であれば自動車の利用を減らしてみましょう。CO2 排出量は同じ距離を移動するにしてもバスを利用すれば半分に、電車を利用すれば 8 分の 1 にすることができます。もちろん自転車を使えば、化石燃料を使うことなく移動できます。春は自転車で走っていて気持ちのいい季節です。ちょっとそこまで、というときには自転車を使ってみませんか。

どうしても自家用車を使わなければならない地域でも、いろいろと省エネの工夫はできます。言うまでもなく、買い替え時に燃費の良い車を選ぶことは非常に効果的な省エネです。また、例えば各々が 1 人で乗るはずだった時に、家族や近所の人で誘い合わせて 2 人一緒に移動できれば、それだけで 1 人当たりのエネ

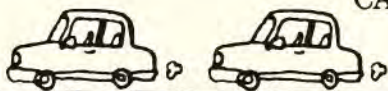
ギー消費量は半分近くに減ります。こう考えると、省エネって意外と簡単に、楽しくできるものですよ。

もちろん、無駄な荷物を積んだままにしない、アイドリングをストップするなどの取り組みもこれまで通り続けてください。

さて、情報をもう一つ。以前の「ぐりふあんレター」で「家電製品の買い替えの時にはできるだけ省エネ型のものを選びましょう。その方がエネルギーもお金も節約できます。」という情報を紹介いたしました。これに関連して、現在京都市内で「省エネ製品グリーンコンシューマーキャンペーン」が展開されていることをご存知でしょうか。これは、店舗の協力を得て製品に省エネ性能をわかりやすく示すラベルをはり、省エネ製品の選択を促す運動です。ぜひ協力店舗に足を運んでこのラベルを見てみてください。そして、協力店舗を応援してあげてください。こうしたお店が増えれば、社会全体としての省エネの効果をぐっと高めることができます。

詳細な情報：http://www.miyako-eco.jp/e_s/index.htm
問合せ：京のアジェンダ 21 フォーラム 075-647-3535

参考：京都市エコライフチャレンジ (京都市地球環境政策課)
CASA 環境教育教材資料集 (CASA)



◇◇◇総会のお知らせ◇◇◇

日時：2003年5月24日(土) 13:00～14:00

場所：京エコロジーセンター

☆ 昨年に続き、京エコロジーセンターで開催します。

今年は、続く時間に同じ場所で講演会が予定されています。時間を空けておいて下さい。

□きょうとグリーンファンドのメンバーになるには？

- 会員は、会費をおさめ会の運営を支援します。「NPO 法人社員」にあたります。
- サポーターは、ファンド(基金)への寄付のみの参加です。

I. まず、会員かサポーターかをお選びください。(入会申し込み書は事務局まで)

会員	10000 円/年	催し物のご案内、会報(年3回程度)をお送りします。 ※会員は「NPO 法人社員」として会の運営に参加していただきます。
サポーター	6000 円/年	催し物のご案内、会報(年3回程度)をお送りします。

II. 次に、払込みの方法をお選びください。

郵便振替 (年払い)	☆下の口座に直接振り込んでください。年1回(入会月) [郵便振替口座 00930-6-157817 きょうとグリーンファンド]
郵便局からの 自動払い (年払い)	◆会員…年1回 10000 円(入会月)が引き落とされます。 ◆サポーター…年1回 6000 円(入会月)が引き落とされます
郵便局からの 自動払い (月払い)	◆会員…年1回 4500 円(入会月)と、月々500 円が引き落とされます。 ◆サポーター…月々500 円が引き落とされます。

★ろうきん口座からの自動払いの方法もあります。この場合手数料はかかりません。詳しくは事務局にお問い合わせください。

ぐりふあん日誌

2002

- | | | | |
|-------|-----------------------------------|------|---|
| 11.06 | ぐりふあんレター発送
「エコ京都 21」交流会参加 | 2.10 | 「東本願寺ソーラー化を実現する会」京都集会出席 |
| 11.08 | 事務局会議 | 2.12 | 事務局会議 |
| 11.15 | 清心保育園環境セミナー | 2.20 | 夢窓幼稚園現地調査、ヒアリング |
| 11.18 | 第 21 回理事会 | 2.22 | 第 23 回理事会 |
| 11.29 | 清仁保育園環境セミナー | 2.24 | 市民共同発電所マニュアル制作 打ち合わせ |
| 12.11 | 京都ライオンズクラブ助成
おひさま発電所設置場所公募記者会見 | 2.24 | 京都グリーン電力研究会 |
| 12.13 | 事務局会議 | 2.26 | 京都ライオンズクラブと設置場所選定合同審査 |
| 12.14 | 「市民が進める温暖化防止」自然エネルギー分科会 | 2.27 | 設置場所決定 清水台幼稚園・夢窓幼稚園 |
| 12.16 | 京都グリーン電力研究会 | 3.01 | エコチャレンジセミナー開催 |
| 12.17 | 清心・清仁保育園 点灯式打ち合わせ | 3.16 | 全国グリーンファンド連絡会
/WCPEC-3「市民の取り組み」実行委員会 |
| 12.24 | 「東本願寺両堂のソーラー化を実現する会」との懇談 | 3.26 | 事務局会議 |
| 12.25 | 事務局会議 | 3.28 | 清水台幼稚園打ち合わせ①事業概要説明 |

2003

- | | | | |
|------|---------------------------|------|------------------------|
| 1.10 | 事務局会議 | 4.03 | 府民参加型発電所作りについて京都府と協議 |
| 1.11 | 第 22 回理事会 | 4.04 | WCPEC-3 「市民の取り組み」実行委員会 |
| 1.24 | 清心・清仁保育園点灯式打ち合わせ | 4.05 | 夢窓幼稚園打ち合わせ①事業概要説明 |
| 1.29 | 市民共同発電所マニュアル制作 打ち合わせ | 4.14 | 清仁ソーラープロジェクト報告発送 |
| 1.29 | 京都グリーン電力研究会 | 4.17 | 事務局会議 |
| 2.01 | 清仁保育園おひさま発電所点灯式 | 4.18 | 事務局会議 |
| 2.02 | 「森林バイオマスの利用を考える会」交流会で事例報告 | 4.19 | 第 24 回理事会 |
| 2.08 | 清心保育園おひさま発電所点灯式 | 4.21 | 市民共同発電所マニュアル作り 打ち合わせ |
| 2.10 | 山科清水台幼稚園現地調査、ヒアリング | 4.21 | 京都グリーン電力研究会 |

特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

事務局

〒604-8155
京都市中京区烏丸通錦西入る占出山町 308
ヤマチュウビル2F (火～金 13:00～17:00)
TEL/FAX 075-241-0550
E-mail grifan@h7.dion.ne.jp
ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kyoto-gf>

